

第 2 回日本小児へそ研究会の開催にあたって



第 2 回日本小児へそ研究会の開催にあたりご挨拶申し上げます。このような生まれたばかりの新しい研究会を開催できますことを大変光栄に存じますとともに、ご支援いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

最近の小児外科手術は、内視鏡手術の導入も相まって、各施設におきまして臍を利用してできるだけ小さく目立たない傷で治療をしようと、鋭意工夫されてきています。患者家族からもより整容性のある手術が求められる時代背景からも、へそにまつわる種々の疾患の治療、へそからのアプローチによる開腹手術や単孔式腹腔鏡下手術での工夫、美容上の成果などについて意見交換を行い、よりよい小児外科医療を提供することを目的として、この研究会が発足されました。2014 年の秋季シンポジウム開催中に発起人会をもち、研究会の名称を『日本小児へそ研究会』とし、第 1 回の研究会を 2015 年 4 月の外科学会定期学術集会の期間中に開催する運びとなりました。研究会の体も未熟でかつ準備期間も短いなか、大塩猛人先生には第 1 回会長として有意義な会を開催していただきました。その後、研究会の会則を設け、施設会員制をとり入れるなど少しずつ体裁を整えつつあります。

今回の第 2 回へそ研究会も外科学会の中で開催させていただけることになり、第 116 回日本外科学会学術集会会頭の大阪大学大学院心臓血管外科 澤 芳樹教授には大変感謝申し上げます。午前中に幹事会と施設代表者会議を行い、午後から 3 時間の研究会をさせていただきます。今回は、テーマを手術手技にしぼって応募をお願いしましたところ、21 題の興味深い演題を頂戴しました。また、短い特別講演を本学麻酔学講座区域麻酔診療教授 中本達夫先生にお願いしました。臍を切る手術を行った場合、どのような局所麻酔をすればより有効な鎮痛が得られるかなど、臨床に即した具体的なお話が伺えるものと期待しております。

『へそ研』という略称で皆から愛される研究会を続けていけますよう、皆様からの温かいご支援と厳しいご指導を何卒よろしく願いいたします。

第 2 回日本小児へそ研究会 会長
関西医科大学外科学講座小児外科
濱田吉則

第2回日本小児へそ研究会のご案内

会期：平成28年4月14日（木）

（第116回日本外科学会定期学術集会第1日目）

会長：濱田吉則（関西医科大学外科学講座小児外科）

会場：リーガロイヤルホテル大阪 2階 牡丹の間

（第116回日本外科学会定期学術集会内会場）

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51

TEL 06-4803-5555 代表

演題募集要項

主題：今回はへそにこだわった手術手技のみを取り上げます。へそからの手術については、臍内切開、臍周囲弧状切開などによる開腹手術のみならず内視鏡補助手術や内視鏡下手術も含めます。できあがった『自慢のへそ』をご披露ください。この傷で何をどのように手術したか、傷はどう閉めたか、それらがわかるような動画、ビデオによる発表を歓迎します。

抄録：演題名、所属、演者のほか、本文400字以内とします。

応募方法：メールによる演題受けつけとします。抄録をワード文書で作成し下記メールアドレスあてに添付文書でお送りください。

演題応募先メールアドレス：shiraitk@hirakata.kmu.ac.jp

演題募集期間：平成27年12月1日（火）から2月13日（土）まで

お問い合わせ先

第2回日本小児へそ研究会 事務局

関西医科大学外科学講座小児外科 白井 剛

〒573-1010 枚方市新町 2-5-1

TEL：072-804-0101

メール：shiraitk@hirakata.kmu.ac.jp

日本小児へそ研究会 ホームページ

URL：<http://www.pedsurg.med.osaka-u.ac.jp/heso-ken/>

日本小児へそ研究会 事務局

大阪大学大学院医学系研究科外科学講座小児成育外科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

第2回研究会の開催概要、演題募集案内、プログラムをアップします。

有意義な研究会となりますよう、多数の演題応募をお待ちしております。

プログラム

13:00－13:02 開会の辞

13:02－13:30 特別講演

司会 関西医科大学外科学講座小児外科 瀧田吉則

『小児臍部手術における術後鎮痛としての神経ブロックの有用性』

関西医科大学麻酔科学講座区域麻酔診療教授 中本達夫先生

13:30－14:05 セッションⅠ．臍アプローチ手術

座長 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 田口智章

1. 臍 sliding window 法によるラムステッド手術

自治医科大学小児外科 馬場勝尚

2. 臍部アプローチによる腹部手術－術後外観の検討－

昭和大学医学部外科学講座小児外科学部門 中山智理

3. 臍部小切開にて手術を行った腸回転異常症の4例

杏林大学医学部小児外科 渡邊佳子

4. 回腸重複症に対する臍アプローチ手術の検討

関西医科大学外科学講座小児外科 白井 剛

5. 臍窩 Z 型切開による小児外科領域手術症例の検討

兵庫県立尼崎総合医療センター小児外科 高田斉人

14:05－14:33 セッションⅡ．単孔式腹腔鏡・補助下手術 1

座長 大阪大学小児成育外科 奥山宏臣

6. Veress 針を用いた経臍的 direct 法による第 1 ポート挿入の是非

大阪市立大学小児外科 諸富嘉樹

7. LPEC 法を施行した卵巣ヘルニア症例の検討

広島市立広島市民病院小児外科 佐伯 勇

8. 乳児胆嚢結石症に対して単孔式腹腔鏡下胆道造影および胆嚢摘出術を施行した 1 例

京都府立医科大学小児外科 竹内雄毅

9. Wound Retractor®を用いた経臍的胃内手術の 1 例の経験

埼玉県立小児医療センター外科 川嶋 寛

14:33-15:01 セッションⅢ. 単孔式腹腔鏡・補助下手術 2

座長 自治医科大学小児外科 小野 滋

10. 先天性十二指腸狭窄症に対する腹腔鏡併用ハイブリッド手術

北野病院小児外科 鈴木久美子

11. 腹腔鏡下单孔式虫垂切除術における臍縦切開の利点

川崎医科大学小児外科 久山寿子

12. 当科における単孔式腹腔鏡補助下虫垂切除術の工夫

日本赤十字社医療センター小児外科 小西健一郎

13. 当科における経臍単孔式腹腔鏡補助下虫垂切除(Transumbilical laparoscopic-assisted appendectomy ; TULAA)の治療成績

静岡県立こども病院小児外科 関岡明憲

15:01-15:29 セッションⅣ. 臍再建手術手技

座長 昭和大学医学部外科学講座小児外科学部門 土岐 彰

14. 開腹時に臍部を通る正中切開を施行した小児手術症例の検討

北里大学病院小児外科 柿原 知

15. 単孔式腹腔鏡手術で用いる“へそ”の再建のコツ

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児外科 古田繁行

16. 当科における臍部アプローチによる小児外科手術の臍形成の工夫

近畿大学医学部外科学教室小児外科部門 前川昌平

17. 単孔式腹腔鏡下手術後の臍窩創真皮縫合法の工夫

関西医科大学外科 松井陽一

15:29-15:57 セッションⅤ. 腹壁異常の臍形成

座長 北野病院小児外科 佐藤正人

18. 術中に余剰皮膚のため陥入不十分と判断された臍ヘルニアに対する工夫

大阪大学小児成育外科 野口侑記

19. 臍帯ヘルニアの腹壁閉鎖術時に臍形成を行った一例

東京医科大学消化器・小児外科学分野 林 豊

20. 臍帯ヘルニア根治術における臍窩形成に臍帯からの遊離羊膜を利用した1例

順天堂大学医学部小児外科・小児泌尿生殖器外科 土井 崇

21. 腹壁破裂術後の臍欠損に対する臍形成術の経験

九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 高橋良彰

15:57－15:58 次期会長あいさつ

昭和大学医学部外科学講座小児外科学部門 土岐 彰

15:58－16:00 閉会の辞

参加者へのご案内とお願い

I. 開始時間、プログラムなど

受付開始は午後 12 時 00 分からです。

プログラム・抄録集はあらかじめ発表者、施設代表者に郵送いたしますので当日ご持参ください。

プログラム・抄録集は当日 1,000 円で販売いたします。

II. 参加費について

本研究会の受付で研究会参加費 **3,000 円**をお納めください。

参加証兼領収書をお受け取りください。

研究会期間中は必ずご着用ください。

III. 第 116 回日本外科学会学術集会の参加登録について

リーガロイヤルホテル大阪 タワーウイング 3F ロビーで登録できます。

日本外科学会雑誌日程号（第 117 巻臨時増刊号(2)）をご持参ください。

IV. 口演発表について

口演時間は 4 分、質疑応答は 3 分です。

前置きは省略して講演主旨を時間厳守で簡潔に述べてください。

第 116 回日本外科学会学術集会の運営に準じて行います。

プレゼンテーションは PC のみで行います。

発表データ持ち込みのメディアは CD-R または USB メモリーに限ります。

パソコン持ち込みの場合の注意点は、外科学会雑誌日程号(第 117 巻臨時増刊号(2))に掲載されていますのでそれに従ってください。

発表データの受付、パソコン持ち込みの場合の出力チェック、確認はすべて PC センター③で行います。

PC センター③はリーガロイヤルホテル大阪 タワーウイング 3F ロビーにありますので、発表の 1 時間前までに受付をしてください。

講演会場はリーガロイヤルホテル大阪 タワーウイング 2F の第 14 会場です。

V. 座長の先生へ

ご担当のセッション開始の 10 分前までに次座長席にて準備してください。

座長紹介のアナウンスは行いません。

時間を確認して円滑な進行をお願いします。

VI. 一般討論者へ

座長の許可を受けたうえで、所属、氏名を明らかにしてから討論を始めてください。次発言者はマイクの前まで移動してお待ちください。

VII. 二次抄録について

日本小児外科学会雑誌に抄録を掲載します。抄録内容に変更のある場合は研究会終了後 1 週間以内に研究会事務局までご連絡ください。

幹事会・施設代表者会議のご案内

幹事会

平成 28 年 4 月 14 日（木）10：00～11：00

大阪国際会議場 7F 701

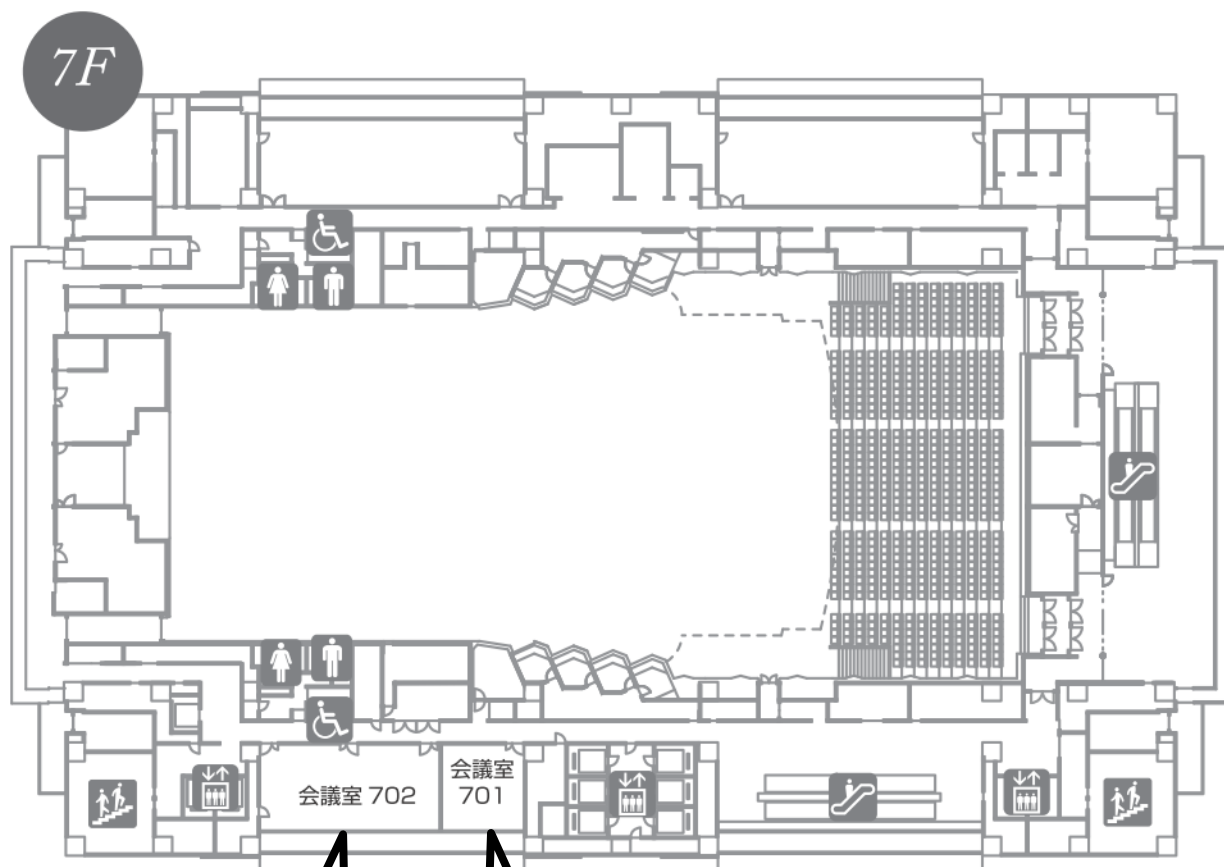
施設代表者会議

平成 28 年 4 月 14 日（木）11：00～11：30

大阪国際会議場 7F 702

会議では昼食は用意いたしません。

大阪国際会議場



**施設代表者会議
会場**

**幹事会
会場**

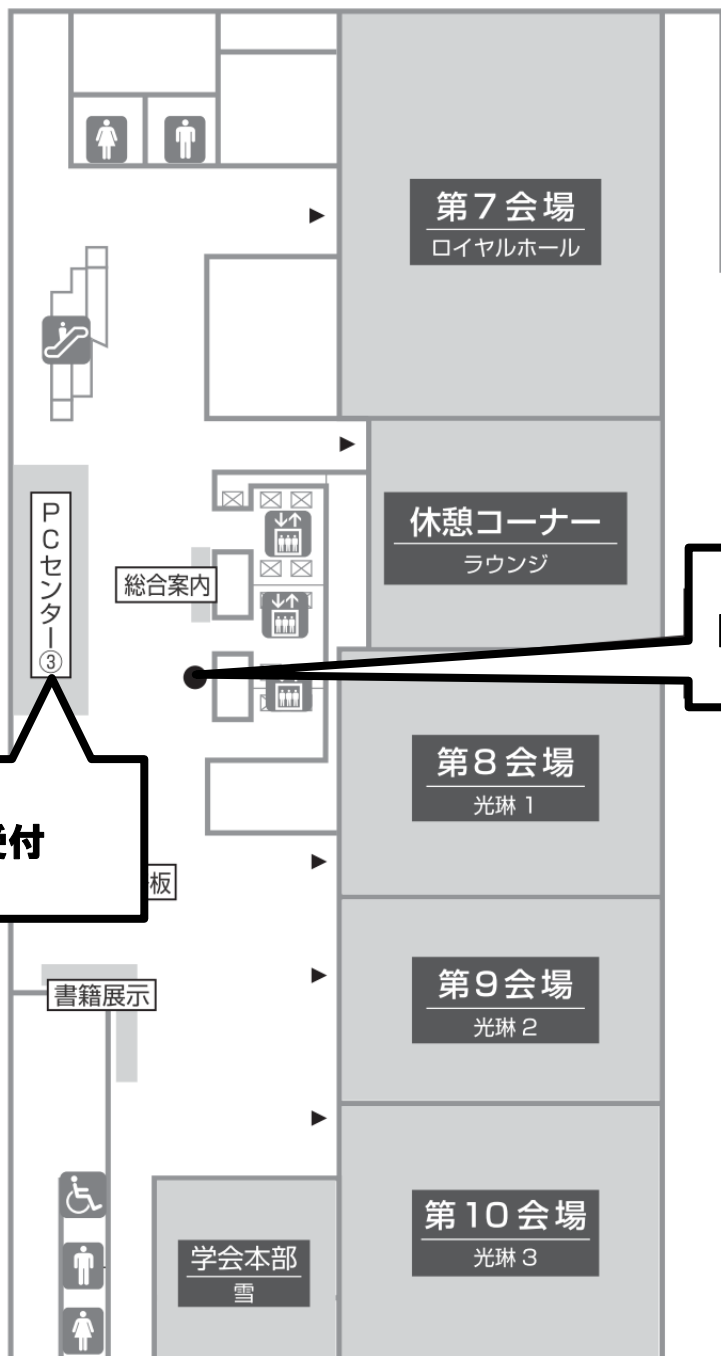
リーガロイヤルホテル大阪

3F

タワーウイング

第7会場～10会場

*3階より上層階は、タワーウイングとウエストウイングはつながっていませんのでご注意ください。



第116回
日本外科学会定期学術集会
参加登録受付

PC受付

リーガロイヤルホテル大阪

タワーウイング

第14～17会場

2F

ウエストウイング

第11～13会場

